

2021年8月25日(水曜日)の下野新聞に きらむぎサッカーパークについて掲載されました!

下野新聞

2021年(令和3年)8月25日(水曜日)

「パン・アキモト」秋元専務ら

サッカー場有志で整備

【那須塩原】子どもたちがサッカーに打ち込める環境をつくろうと、東小屋のパン製造販売「パン・アキモト」の秋元信彦専務(41)ら有志がサッカー場を整備

那須塩原

した。2年以上放置されていた同社工場移設候補地を、約3カ月かけて天然芝のグラウンドに再生。「きらむぎサッカーパーク」として月内にプレオープンする。(野中美穂)

負けない
新型コロナ

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、昨年からスポーツチームの練習場所確保が難しくなっている。息子がサッカーチームに所属している秋元専務は「伸び盛りの子どもたちが少しでも練習できる場所を作ろう」と、工場移設候補地として同社が所有する東小屋運動場をサッカー場に整備することにした。

協力の輪が広がり、県内のサッカー少年らの保護者

有志で整備したサッカー場に立つ秋元専務(左)と楠本さん

「子どものため」 工場用地を転用



や地元住民らも数回にわたって草刈りに参加。県内企業からは、ライン引きの際に使うメシヤの寄贈もあった。

協力者の一人で、ゴールキーパーのスクールなどを開催している楠本晃義さん(38)は「芝で練習できる環境は県内でも少なく、経験値の面でもプラス。秋元

さんの思いに触れ、自分も子どもたちのために協力したいと思った」と話す。広さは約1・4畝で、ジュニア用のサッカーコート1面を取れる。今後はサッカーゴールなどを整備し、10月から本格的に運営する予定。秋元専務は「みんなの力でここまで来られたのでありがたい。笑顔あふれるグラウンドにしたい」と話した。

「安全」誓い日光砂防祭 土砂災害犠牲者ら慰霊



【日光】土砂災害の犠牲者などを慰霊し、砂防事業の推進を祈願する「日光砂防祭」(同実行委員会主催)が20日、所野の砂防塔前で行われた。

塔は砂防事業に尽力した旧日光市長の故佐々木耕郎氏が砂防功労者建設大臣表彰を受けたことを機に、土砂災害犠牲者らの慰霊と砂防事業関係者への感謝を込めて1973年に建立された。以来、毎年この時期に同祭が開かれ、今回で49回

この日は、昨年に続き型コロナウイルス対策として、出席者を減らして神のみ執り行った。日光一山神社の神職3人が神事を行い、参列者は玉串をさげた。

同実行委の会長を務める粉川昭一市長は「過去の経験を活かして、市民の安全安心に努めていく」などあいづつした。(岩崎駿祐)

一般質問、書面で 矢板市議会

【矢板】新型コロナウイルスの感染拡大を受け、市議会は24日の議会運営委員会で、9月定例会の一般質問、書面で実施することなどを決めた。市議会事務局によると、一般質問は議場では行わず、各議員が質問を書面